

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社“ANA VISION”第59期第1四半期のご報告をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当第1四半期においては、国際線旅客事業、貨物事業は増収、国内線旅客事業は減収となりました。国内線旅客事業の減収幅は圧縮した生産量よりも小さく、需給調整を図ることができたと考えています。燃油市況は高騰していますが各種費用の削減に努め、営業利益、経常利益は前年実績を上回りました。

今月25日、横田米軍空域の一部が我が国に返還されます。それにより羽田と西日本を結ぶ路線の経路が短縮され、2～5分程度の飛行時間短縮が期待されています。飛行経路の短縮は、時間短縮のみならずCO₂排出量の削減にもつながり、「低炭素社会・日本」の国策に寄与するものです。ANAグループは、安全で快適な空の旅をご提供するために、これからも常に挑戦し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2008年9月



代表取締役社長

山元 肇 生